



大隈系秘函

三通ありし所なりし電報の
二通ありし所なりし大臣
の文

大隈系秘函

114
A 263
6



京都
定方保多

何の事なる時也
ノ方多ノ人今り
ナリナリ
系河
ナリ
混
ナリ
報

二月十七日申の事

岩倉方書

主簿 岩倉保彦

勅使差立テ元、二付テ、騎兵ヘイツツケテ一艘ノ
軍艦ヲモツテホウゴノハス 勅答ノ趣、ヨリ 勅使
ノ進退ヲ決ス、テギレ、及バ、直チ、警衛ノ手
ヲ以テ、防然シヨチスヘシ 警衛ヘイ、使宣ノ
處分ヲオマカセ、丸十分ノ方、略お立ルゴ安心
アルヘシ 懸布ノカタハ、倉ヘイ、ツクリコムコトヲ
劣少将ヨリ 陸軍卿、ヲウツクマリタリスベ
テキツカイナレ

二月十一日 舟中 舟中 舟中

正官

東艦至急 神戸 其後艦アリタニ 筑波船
 日新艦モユフクナガデモウニテニ 至ナキ
 カケニナラバ 神戸 へッワスヨウ 海軍 へ至急
 ツキニ 可下 海軍 艦モバウカニ
 二月十有五日 舟中
 西条河村海軍 舟中
 山本から大田へ

太政官

